

STORY 4

Route

「宿場町の昔と今を知る旅」

「人、モノ、情報が行き交った
街道と宿場町の物語」



宿場町文化と歴史
故きを温ねて
新しきを知る

人々の往来により、賑わいを見せた宿場町。交通手段が発達した現在でも、宿場町に伝わったモノは、既に暮らしの一部となっているものもあれば、伝統として伝承されているものもある。それらの宿場町文化の現在の姿を辿り、今なお色濃く残る“文化”を知る。



山鹿市

惣門地区

宿場町として栄えたエリア。現在でも日本酒醸造元や味噌蔵、米せんべい屋など往時の面影を残す店が点在し、それらを巡る「米米惣門ツアー（予約制）」も通年行われている。



大津町

大津町「梅の造花」

肥後細川家の藩主が参勤交代の際、江戸へお土産として持参したと言われる梅の造花。大津町の指定文化財に認定されており、町内の「保存会」によりその技術を継承している。



大津町

堀川井手の石造眼鏡橋

加藤清正公の命により、火山灰地を開墾するために整備した井手。年貢米はこの井手で城に運ばれ、大津町は水運の基地となった。井手に架かる眼鏡橋や水車なども現存している。

牛王さん

道端に祀られたお地藏様。昔より道中の安全を祈願されており、豊後街道の賑わいが華やかなりし頃は、往来する人々が牛王さんへ祈願して長い道のりを歩いたと言われる。

大津町